

令和7年8月27日総合計画審議会専門部会B

参加者：遠藤委員 片桐委員 西川委員 村山委員 野崎委員 櫻田委員  
黒田委員 飯島委員 佐藤委員

欠席者：川合委員 大坂委員（お二人ともシート提出あり）

事務局：村上

**健全な財政運営（政策推進課 有澤課長、中田補佐 住民税務課 松田課長）**

《質問》

事前質問に届いた質問については紙で回答。

委員

経常収支比率は低い方がいいということによいか。

有澤政策推進課長

おっしゃるとおりである。

委員

成果指標は8月判明ということで、速報値を出していただいたのだと思う。この数値を財政的にどうとらえているか。

中田政策推進課長補佐

町としての考えについて。物価高騰や景気の動向で義務的経費が右肩上がりになっている。行政財政運営についても、人件費や借金の返済や社会保障といった扶助費について、右肩上がりになっている。経常収支比率は、町の収入に対して経常経費がどのくらいあるかという割合で、低い方が自由なお金があるということ。収入が増えればこの比率も下がり財政運営上は良くなるが、現実には難しい。町の収入は地方交付税という国からの交付税に影響を受けるが、町の歳出の増加に伴い地方交付税も収入が増えるかというところとそうでないという現状がある。全国の地方公共団体の状況を見ても、経常収支比率の全国平均が92.8%と厳しい財政運営状況である。

本町においては、経常収支比率の目標値88.4%未満としているが、当初想定されていなかった物価高騰の中で88.9%を維持しているのでこの部分については、財政規律を見定めて財政運営していきたい。

委員

事前質問に対する回答に広報の記事があり、財政力指数が出ている。（調べたところ）道内の財政力指数の状況を見ると、芽室町は道内26位。近隣市町村では、音更町が23位、帯広市17位で、芽室町はしっかりやっているというのは納得した。ただし、先細りだなと思

うが、打開策はないのか？自治体としては国から補助金をもってくるというのが現実的な手段ということで理解してよいか。

中田政策推進課長補佐

おっしゃるとおり、芽室町の財政力指数 0.48 は全道の中で上位。これは芽室町が税収や産業などで自賄いができているという指標である。しかし、結局低いところには国から地方交付税が多く配分される。地方交付税の考え方は、日本全国どこにいても同じサービスを受けられるという仕組みなので、財政力指数だけで判断するのは難しい。

芽室町の今後においては、経常収支比率や実質公債費比率、将来負担比率をしっかりとみながら財政規律に基づいて財政運営をしていかなければならない。その中では、義務的経費、人件費、扶助費、をいかに抑制していく、借金についてはなるべく借金をしないという基本的なこと、将来の負担をおさえながら、長い目で財政運営をしていかなければならないと考えている。

委員

財政力指数の道内トップは泊村だが、これは原発で国からの補助金？

中田政策推進課長補佐

おっしゃるとおり。地方交付税も交付されていないし、支出以上に国からお金をいただけているという数字。日本の中には、泊村や東京都など、交付税の不交付団体が何十か所がある。

委員

公債費を払うために町債を発行しているのか。広報に掲載されている借金 136 億円の中で、芽室町の公債費はどのくらいか？

中田政策推進課長補佐

借金返済のために公債を発行しているわけではない。借金 136 億円は借金の残高ととらえていただけたら。

《評価の妥当性》

妥当である D…9 人

妥当でない E…1 人

委員 妥当でない E

成果指標①②ともに、計画策定時より目標値を下回っており、具体的な改善内容は示されていない。成果指標③は上回っているが現時点で 99.4 と高い数値で伸びしろが期待できない。

全体での評価は、後退したと判断する。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

これからのモンベルがくる。色々なお金を使いながら町の活性化の計画が進んでいると思うが、芽室町の借金が増えて圧迫することはないか？

有澤政策推進課長

モンベルについては、Park-PFI という民間のお金を使って進めるというイメージである。モンベルいらっしやったときには、それなりの観光客や税収が見込める。今の時点で危ないとかバラ色とか言える根拠はないが、今の硬直した財政状況を打破する投資施策としては、Park-PFI という民間活力を使って未来を作っていこうという打開策が、未来を築くために有効であると考えている。

委員

P62 記載されているが、**各事務事業の効果についてはスクラップ&ビルドや取捨選択をして進めてほしい**。将来の子どもたちに負の遺産を残さないよう、バランスの良い財政運営を願っている。

委員

広報に公立芽室病院の特別会計の赤字が1億7000万円、一般会計の繰入が4億円と出ている。コロナの時は悪くなかったと思うが、今後のことをどう考えているのか。公立芽室病院は必要だと思っているので、赤字について批判しているわけではない。

中田政策推進課長補佐

公立芽室病院決算は、1億円近い赤字。コロナ禍では国からの交付金が出て黒字になっていたが、交付金が出なくなってコロナ前と同じく赤字に戻ってしまった。

公立芽室病院は経営改革プランで様々な取組を行っている途中である。病院の運営については、町の会計から繰り出し約5億円だが、赤字が増えて6億も7億も出せるかという現実的ではない。住民の皆様の医療を守るという意味でも病院の経営改革をやり続けていただく。

また、全国の自治体病院の6割~7割が赤字と医療制度の問題もあるので、制度の改革については、国に手立てを要望しているということも申し添える。

委員

石原元都知事が東京都の貸借対照表・損益計算書を作るという話があったが、行政はやらな

いのか。損益計算書を作ってはどうか。

中田政策推進課長補佐

全国の自治体でも令和5年度中までに作るよう指示があり、芽室町も貸借対照表を作成し、町のホームページに公表している。しかし、作成した貸借対照表の活用については活用できていないというところはある。

委員

損益計算書を作成しているのであれば、広報誌に決算を出すときにコメントなどで書いておけばよい。

中田政策推進課長補佐

貸借対照表の公表については検討する。

**担い手育成と農業の応援団づくり（農林課 高橋課長 大浦農林企画係長、高瀬農畜産振興係長、佐々木土地改良係長）**

《質問》

事前質問に届いた質問については紙で回答。

委員

上美生地区の小学校・中学校で食農教育を行っていると感じたがどのようなことをされているのか。また、ニュースで芽室の小学生がとうきびを収穫して茹でて食べたことを見たが上美生でも行われているのか。

大浦農林企画係長

食農教育については、町教育委員会主催事業は芽室小学校と芽室西小学校で実施している。上美生小学校と芽室南小学校については、独自で事業を行っている。詳細はおさえていないが、保護者の方と学校の先生が協力して、栽培から収穫の体験をしていると聞く。

高橋農林課長

昨日 NHK でがぶりの時間という事業で、じゃがいもととうきび収穫を行い、とうきびを茹でて食べたのがニュースに出ていた。子どもたちに農業を知ってもらった上で、農業や故郷に愛着をもってもらうということで取り組んでいる。

委員

事業費が 8700 万円とのことだが、これは食農教育や後継者育成などに使われているのか？

他の事業にも使われているのか。

高橋農林課長

食育事業や後継者育成事業以外にも、例えば農民連盟への支援や地域農業振興事業など各種事業を実施した合算で8700万円である。

委員

小学生や中学生にはイベントや取り組みがあるが、高校生や大学生にも農業の魅力を発信しているか。もしやっていなければ今後やっていくといいのでは。

高橋農林課長

先ほど申し上げた教育委員会のがぶりの時間や、農林課で小学生を対象にした農業小学校という事業をやっていてその子たちが大きくなって芽室高校などに進学すれば体験として繋いでいけるが、町外から芽室の高校に通う子に対しては現状はやっていないので、その辺について周知していくかは課題かなと考えている。

《評価の妥当性》

妥当である D…10人

《今後の取り組みに対する意見》

委員

小学生を対象に、郷土愛を育てているのは良いと思う。事業後、子どもたちはレポートなどを出しているのか。次年度に繋がるように関係者や町民に対してフォローする仕組みはあるのか。

大浦農林企画係長

事業実施後にアンケートをとり、関係者に共有して次に活かしている。アンケートを見ると、大人にも影響が波及していることが分かる。農村部を車で走る時に農作物の話をしたり、食に興味を持つようになったといった声もある。

**農業生産性の向上と経営基盤支援（農林課 高橋課長 大浦農林企画係長、高瀬農畜産振興係長、佐々木土地改良係長）**

《質問》

事前質問に届いた質問については紙で回答。

委員

米の生産は水田が常識だと思っていたが、畑でも米の栽培ができると聞く。陸稲について芽室町の状況はどうか。

高橋農林課長

芽室町内で陸稲は直接把握していない。しかし、町の農業生産法人のメンバーが他町でやっているという話は聞いている。

《評価の妥当性》

妥当である C… 8人

妥当でない D… 2人

委員 妥当でない D

たまたま天候に恵まれた結果ではないか。昨年度比の差額 20 億円のうち、営農指導がどれくらいの割合で貢献したのかが分からないので前進したとは言えないのでは。

委員 妥当でない D

近年の機械や資材の高騰、異常な酷暑における例領地作物への栽培技術に置いて。情報や技術支援が十分に行き届いているとは思えない。

高橋農林課長

天候に恵まれた結果という部分はあるかなと思うが、産出額は 383 億円、経費が 30 億円くらいかかっている部分もある。色んな要因を検証した中で、今後も精査したい。

川合委員の評価については、P3 の 3②に記載しているが農業振興センターを中心に営農指導の継続や機械設備の導入などを行っているが、もう少し広く伝えていきたい。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

農協がやるべきことを役場は支援としてやっているというその立場を理解しなければならないと思う。その上で何をというところでは、異常気象について。線状降水帯が北海道にも出る中で、農業をどう守るか。素早い対応を確立して適切な処置をする行動力がないと作物がやられてしまう。そういった支援を役場でやるということは変わらないと思う。資材高騰などは農協の仕事だと思う。その辺の違いをわきまえながら、お互い共有する者は共有しながらいい方向に政策を進めてもらいたい。

委員

芽室町内のスマート農業の取組状況や、芽室町としてどのくらい関わっているかを教えて

もらいたい。

大浦農林企画係長

ドローンや自動操舵は、台数は把握していないが増えてきていると認識している。省力化や経営規模拡大で国の補助メニューもあり、補助申請を出す人はいるので増えているという感触はある。また、気象情報については、町内 10 か所に観測地点があり、スマホ上で確認できるものがある。それを参考にしながら営農活動をしているというのものもある。

委員

そういう情報を何かで知らせていただければ。

委員

異常気象や鳥獣被害対策について、取組を強化してもらいたい。新規就農についても芽室町の基幹産業は農業なので、より一層、地域の農業団体や企業との連携を密にして取り組んでいただきたい。

大浦農林企画係長

後継者については、関係者でつくる担い手部会があり、関係機関で集まって検討して、支援している。昨年度、従業員として雇用されていた方が独立したいケースがあり、支援を行った結果、今年度認定されて農業者として就農したケースもある。そういった方も増えてくると思うので、体制を維持していきたい。

高橋農林課長

有害鳥獣については、クマの出没が昨年よりも増えているので、出た場合は速やかに SNS などのツールを使い、今後も周知していきたい。

委員

P3 3(1)①に良質な堆肥施用による土づくり支援とあるが、一般町民が支援できることがあれば公表してほしい。

大浦農林企画係長

土づくりについては、堆肥センターがあるのでそのことを記載している。一般町民向けというよりは農家さんがまく堆肥である。

委員

農業振興センターについて教えてもらいたい

大浦農林企画係長

事務所は農協にあり、農協と町でお金を出し合っている組織。職員は農協職員で9名体制。営農指導や技術的指導や相談を行っている。

高橋農林課長

基幹産業である農業を発展させるために、農協と町とで農業生産技術と農業経営管理技術の向上などを目的とした中で、町長が会長になっている組織である。

**農地・土地改良施設等の整備・充実（農林課 高橋課長 大浦農林企画係長、高瀬農畜産振興係長、佐々木土地改良係長）**

《質問》

事前質問に届いた質問については紙で回答。

委員

国がメインでやっているというイメージだが、町も予算をもっているということか。仕組みを教えてもらいたい。

佐々木土地改良係長

基盤整備事業は、国営事業、道営事業、芽室町やJAといった団体営事業という3つがある。今主に事業として展開している圃場の暗渠整備や灌漑整備をやっているのは北海道の事業。北海道の事業は、国52%+北海道28%=合計80%補助で、残り20%について芽室町負担している。その中には、受益者からの負担金も徴収しながら事業を展開している。

委員

小水力発電施設について教えてほしい。

佐々木土地改良係長

平成の初めの頃に美生ダムを国が造成し、十勝川から南側のエリアの畑地灌漑用水の水源として維持管理している。二十数年経過しているので、国営の事業で芽室川西地区という形で美生ダムに係る機器の更新に関する事業を展開している。その中で、美生ダムの水を川西地区に灌漑用水を引っ張るパイプラインの整備も進めている。それに加えて、平成25年に水を活用した発電ができないかという調査を行った結果、国営事業で美生ダムの直下に小水力の発電施設を作って、水の高さの差を活用して小水力のタービンを回して発電をするという事業展開を進めている。今年度中に完成を予定し、令和8年度から発電事業を開始する予定で進めている。

《評価の妥当性》

妥当である C…10人

委員

昨年の農業生産額の高水準は土地改良施設があつてこそその出来高だと考えている。それなりのベースが整っているしそれを維持しているということでB評価でもいいかと思つたが、国からの支援も優遇されているという恵まれた状況も加味して妥当Cとした。

《今後の取り組みに対する意見》

意見なし

**地域林業の推進（農林課 高橋課長 大浦農林企画係長、高瀬農畜産振興係長、佐々木土地改良係長）**

《質問》

事前質問に届いた質問については紙で回答。

委員

森林環境譲与税について教えてもらいたい。

大浦農林企画係長

森林環境譲与税は、森林の整備や維持管理をするために、森林の面積や人口に応じて国から交付されるお金である。芽室町では、町有林の維持管理や、役場他部署で木を使った整備を行う事業などで活用している。

委員

P8 4に「所有者所在不明（中略）が要因で私有林の適正管理が進まない状況」と記載されているが、所有者が何人もいて困るということではなく、所有者が不在ということか

高橋農林課長

昔の原野商法で、この辺の山林を買っている方もいて、そういう方がどこに住んでいるか分からない、連絡つかない方がいる、ということで記載させていただいている。

委員

釧路で湿原地帯に太陽光パネルが建てられて自然破壊という状況がある。法整備できていないし、資本が中国からきているとも聞く。抜け穴で勝手なことをする輩がいるのは現実。その辺は、芽室町は大丈夫か。

大浦農林企画係長

民-民でやる場合は、把握できないケースがある。問い合わせがあつたりはする。農業振興地域や勝手に木を切れないような仕組みの場所もあるので、そういうところは聞き取りをしながら対応している。

高橋農林課長

国土法という法律のもとで、民-民で買った場合に2週間以内で届出をなさいという法律があるので、その辺は町を経由して振興局に出すので確認していけるのかなと思う。

委員

倶知安町で森林伐採というニュースも見たので気になったので質問した。

《評価の妥当性》

妥当である D…9人

妥当でない C…1人

委員

ゼロカーボンの施策のところで、森林の保全ということも聞いているので、そういったところを評価してC評価とした。

委員

P4 令和7年度に森林に関するイベントを開催予定とあるが、実施されたのか。

大浦農林企画係長

9月14日に、防風林内で開催予定。林に触れる機会の創出ということで、子どもから大人まで参加できるイベントで、生態系など幅広く知っていただく機会とする予定。

《今後の取り組みに対する意見》

意見なし。

委員

施策評価全について。自分は11施策の評価をしたが、34施策すべての評価を行っているのか。

事務局（村上政策調整係主査）

専門部会委員をグループに分けて、34 施策すべての評価を行っている。